京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年　紀元二千五百七十年
本紙定價　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵税一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊(日刊)
廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久錦一郎
京城西署西小門通(電話六六三)
發行所　京城新報社

雜報

電信讀み方に就て

電信事務に就て矢野業務課長の談話左の如し

△暗號又は略號は之を括弧内に入れられたし、電報發信者の内には暗號又は略號を括弧等にて區別せず普通辭と混記しむるものありと雖も斯の如きは受信者に於て暗號又は略號の文字と他の普通文字とを區別し難き場合あるのみならず往々大なる誤解を招くことなしとせず故に豫め其の行違を避くる爲め暗號又は略號の如き文字は之を括弧内に入れて他の普通文字と區別せられたし

△發信者は受信者の心得にて電文を認められたし電報の文字は片假名を以て且つ可成簡短となすの要あるを以て語勢の如きは之を略することも少なからず爲めに往々笑話に値する間違を生じたる類例少なからず今左に其の實例二三を述ぶべし

(甲)或る人或年の夏の頃某所へ旅行せしが不在中其の妻女急病に罹りたるため同居せる某氏より其の旅行先へ宛て妻君病氣につき至急歸宅ありたき旨打電せしに早速左の返電來れりミステタカヘレヌ(見捨てた歸れぬ)と此の返電を受取りたる某氏は心竊かに其の主人の餘り不親切なるを怒りしも之を妻君に告ぐる譯にも行かず其儘となしありしが其の後主人歸宅せしにつき其不都合不親切を詰問せしに主人曰く右返電の意味は(水出た歸れぬ)にして實は旅行地が非常の水害ありし爲め歸宅せんと欲するも能はざりしとの旨を辨明せりといふ分つて見れば一口噺にでもなるべきものなるも僅かに濁點を略したるが爲め斯る間違を生ずること往々之れなしとせず

(乙)(前略)冬季休暇中旅行して歸途某停車場から妻君に宛て、ゴジハンイヒダマチック(五時半飯田町着く)と云ふ電報を掛けて置いたのに飯田町へ着いた時妻君が見へなかつた歸宅してどうしたのかと聞いて見たら電文を『無事である晩に飯田町へ着く』と云ふ事と思ひ時刻が不明なので遂に出なかつたとの事であつた云々如上の如き笑話的事實は猶ほ幾らでもあるべしと雖も要するに發信人たるものは受信人が其電文を如何に解すべきかと云ふ點に注意せられたきものなり

△片假名の間違ひ易きもの左の如し

(一)ア、カ、ヤ、マ(二)ユ、ン(三)フ、ワ、ソ(四)シ、ン、レ(五)リ、ソ、メ(六)ナ、チ、ヲ(七)タ、ヌ(八)エ、ユ、ニ(九)イ、タ(十)ミ、シ、三(十一)ワ、ル(連續記載のとき)(十二)ラ、ユ(同上)(十三)ト、リ(同上)(十四)ラ、シ(同上)(十五)ウ、ラ(十六)ケ、ク(十七)コ、ニ(十八)ヒ、七(十九)(一)ト、ヘ(一)ト、一(二十)

要するに少しく注意して書きさへすれば間違なきこととなるに餘りに粂る書きをなすため不測の損失なしとせず

△發信人又は受信人は電報の閲覧又は正寫を請求することを得、電報の發信人又は受信人にして發信文の寫又は着信の電報を紛失せしため事業上困却せらるゝもの少なからず斯る場合には發信に在りては其の發信局所、着信に在りては着信局所に對して電報の閲覧又は正寫を請求し得るものなり但し少額の料金を要するは勿論なり

△電報規則の必讀を望む、世運の進歩に伴ひ電信利用者は逐日増加の勢あり官民の何れを問はず事の緊急を要するもの又は重要なる事件は總て電報を以てするを常とす事業界活氣を帶ぶれば電信増加し政界多事ならんか又電信局の多忙となるは余の常に實見せる所なり、之れと横濱某外人に聞くに彼等の大部分は其業務を處理するには電報を以てするを原則とし書面の如きは事後詳細の報告をなすに過ぎずと云ふ、想ふに活世界に活動せむと欲するの士は宜しく電信規則位は熟讀せられんことを望む然らざれば其活動に不便にして世の進運に伴ふこと能はざるべし彼の歐米人の如きは常に通信法規に通じ居れるは余の窃かに感服せる所なり以上述ぶる所は聊か我田引水の譏なしとせざるも之を行ふに利ありて以行はざるに不利あり敢て一般の注意を望む所以なり

鐵道收入悲觀

鐵道貨物は昨年末來季節の荷動きのため各管理局共多少の活況を呈したるに本年に入りてよりは動もすれば昨年同期より貨物收入共減退せんとするの傾向を示すの狀態にあり之れに對し當局者は頗る苦心しつゝあるが只本邦東北部に於ける鐵道は毎日昨年同期より二三千圓の増收あるも之れ等は地方經濟界の回復にあらずして納税期日の切迫せるが故に穀類の投賣をなしつゝあるものゝ如し然れども韓半島に於ても豊作なりしとは云へ未だ韓人間の購買力としては昨年度と差したる變化なく故に韓人向雜貨等の輸入を見合はせたるの傾向あるを以て鐵道沿線は貨物凋落ならざるに引き換へ昨日漸く海運業は振興するの傾向を示し來りたるは急を要せざる限りは高率なる鐵道に依らずし船舶に依る方運賃とても遙かに安價なればなり然るに政府が動もすれば鐵道をして海運業と競爭するの狀態にあるは畢竟收入不足の結果より出でたるものなりと雖もかく海運業の振興し來らば鐵道貨物の不況に陷るは當然の事なれば今更ら怪とするに足らず故に本年度に於ける鐵道收入は先づ以て當局者は悲觀し居るもの〻如し

一億圓の軍艦注文

清國政府が大艦隊再建の爲め一億圓の資金を以て軍艦を建造せんとしつゝあるは最早隱れもなき事實なり而して英、佛、獨、米、伊、白並に本邦の川崎三菱等の各造船所が其の注文を引受けんと鎬を削て競ひ居れるも何分にも清國政府に於ては資金調達の必要ある上各者の競爭激烈を極むるより昨今の形勢にては各國造船所が資本家と共にシンヂゲートを組織し一手に建造を引受くるに至らん模樣あり頃日造船業者が東奔西走しつゝあるは全く之が爲にて前年莊田平五郎氏が軍機署大臣と會見し巡洋艦の建造を引受けんとせる時も全く資金問題の爲に不調に終りたりされば今回の交渉は多分纏まるべく思はるれど各國注文の分配並に資金問題の爲我が政府も相當の援助を與ふる由にて或は此の際東亞興業會社を起たしめ先づ事業着手の手始めに軍艦引受の衝に當らするも亦一策なるべしと唱ふるもありて現に角近く清國軍艦建造の新注文は我が造船所に落るなるべしと傳へらる

新刊紹介

▲實業、該書は十年間の星霜一日の如く本邦貿易狀況を報導したる良雜誌なるが取りわけ本誌日本文及び歐文にて世界貿易趨勢を遺憾なく列記されば斯業家にウヰルカムされつゝあり(東京京橋區宗十郎町日本貿易協會發行)

▲實業之世界　誌中米國商人の目に映じたる日本青年の缺點は先づ青年として讀するの値へあり

▲東京經濟雜誌　本邦經濟界の大勢を熟知せんとするものは須らく本誌を讀むに如かず(東京京橋區彌左衛門町經濟雜誌社)

▲滿韓滿鐵旅行案内　本書は毎月一回發行されつゝあるもの最も特筆すべきは滿韓滿鐵の發着時間は勿論各地名勝地略殆んど漏れず故旅行者は必ず一部携帶するの必要あり(大連信濃町南滿州社發行)

▲大阪パック　例に依つて滑稽百出中々面白し(大坂東町備後町四丁目同社發行)

日本銘刀傳

第廿四席　邑井一　講演

正「ウム、見て違はず若し其女中の人相手相、骨相を見て金が出る者なら、何より結構、又出なかつたら見料として私の方から、れ茶屋のれ拂ひをして上げやう、夫れから京都まで歸へる旅銀と云つた所で、三人で十兩もあれば澤山でしやうの」猪「何う致しまして十兩なんて其樣な大金は要りません。金の三兩もあれば充分でございます」正「マア出るか出ないか一つ見て進ぜやう若し出なかつたら、此家に私が十兩預けてあるに依つて、夫れを取り出して遣れば宜いの、夫れでは早速其の仲居を呼びに遣つて下さい」猪「有り難うございます」金八「私共の家で起つたことでございますから、調べるなら手前が調べます、憚りながら手前の家では怪しいものは一人も使ひません是れでも御領主樣から十手捕縄を預かつて居る松本屋金八、縛る事は手前の方が本職」正「イヤサ十手捕縄を預つて居るの、縛るのと云ふのではない、人相手相を見さいすれば宜いのぢや、れ前さんは其處に見て居れば仔細ない……コレ〳〵一八れ前行つて仲居を呼んで來るやう」一八「畏まりました」と一八が出て行きまして、暫らくすると三十四五になる年増の女中を伴れて參りました、見るより金八は「コレれみの手前は何しに來たんだ、俺が馬になつて、京都まで行くからにヤア、乾度金を取つて來ると云ひ置いたのに、何も貴樣が來るにやア及ばぬわ、詰らん事を喋るなよ」一八「左うだ、何んだつて此の忙しい中を遠慮會釋もなく伴れて來やがつたんだ、餘計なことをするやねおわか」—「アノ何んでれます、貴方は其樣なことを云ひなはるけれども、れ前さん此方が呼んで來いと、云ひやはつたさかい、呼んで來たんや」正「れ前さん達は兎や角申すには及ばん、拙僧が易學の力を以て、人相手相を檢めて見るまでのこと」金八「ヘヽン、易學なら天眼鏡や易書の二三冊位は、持つて居さうなものだ、篦棒奴……」正「イヤ私のやうな名人になると、天眼鏡や易書などは持たんで自然に解る……アヽ女中れ前は何んと云ふ名ぢや」女「妾はあの何んでございます、れみのと申します」正「れ前は馬鹿ぢやの、自分の名を呼ぶに『れ』の字を附けて、れみのと云ふ奴があるものか」金八「オイれみの手前其の人に吩かされて、詰らぬことを云ふな」正「コレ〳〵何んと嚇かすのではない、人相手相を見て遣はすまでのことぢや、何んと、さう怖がることはない、何れ手をれ出し……年は幾歳ぢや」みの「三十四でございます」正「ウム三十四か……三十兩に三十四歳……それで手代に尋ぬるが、三十兩の金は小判であつたが」猪「小判で三十兩入れて置いたのでございます」正「ウム小判で三十兩……左樣さ、成程と料理屋の亭主の顏と女中の顏とを等分に見比べて、女中の手を確かり押へ、暫らく考へて居りましたが　正「ウム成程れ前は主人に頼まれて、三十兩の金を盗つたな、イヤサ紙入を匿したな」と云はれて女中は吃驚して少しく震へ出した樣子　正「其の内一割三兩貰つたな、チャーンとれ前の手の裏中に其の相が現れて居るではないか」女中は眞蒼になつて、ジロリと金八の顏を見ると、流石の金八も目をパチクリ〳〵して居る　正「假令主人に頼まれたにせよ、三十兩の金の爲めに賊を働くとは不心得千萬な奴、併し金八が拙ない入用があればこそ、れ前に吩咐けて、此の金を暫時借りたまでのことであらう、深く咎むるにも足らぬことぢやア、女中賊に恐入りましたと、有體に白狀すれば其の褒美として、拙者が十兩遣る、三兩の金で年甲斐なくも惡事を隱して心配いたさうより、白狀して十兩の金を貰ふ方が身の爲めぢやらう、ア、相ひ事そはんものチャンと此の手の内に三十兩の金の這入つて居る、紙入は妾が隱しましたと云ふ相が有々と現はれて居る」と云ふと、れみのと云ふ女中は惡な女と見ゑて、正宗の計畧とは氣も附かず、十兩の金を遣ると聞いて、急にニコ〳〵笑ひ出した



廣告

キッコーウリ　龍　仁川　日本醬油株式會社

御料理席貸　和樂園　高田家　(電話九三七番)米倉町
○料理は高尚御手輕にして
○園内は至極閑靜にして別世界
○土地高燥にして見晴し京城一
○大廣間の設備も有之候間集會又は宴會等に適當に候

(電話一一八二番)　きちや
金高の多寡に拘はらず十二分の御便利を圖り迅速御相談に應ず質物は叮嚀に取扱ひ保管す
京城明治町　大槻商行質部
流質品と雖も場所の許す限り可成長期間大切に留保し萬遺漏なきを期す

陸軍官衙御用達　建築土工請負業　龍山老松町　磯口商店　電話一一九番

味の素
一味の素　和洋料理は勿論一般の家庭料理として日常欠く可らざるものにて鰹節や昆布の樣に色々面倒な手數も入らず誰れにでも即座に用ひ得らるゝ調法及經濟的調味品であります
定價一瓶(四十五錢)(三十錢)
他地方は引換小包にて送ります
韓國特約店　京城 [illegible] 屋　電話二四八番

入院隨意　龍山新市街山下町　內科　小兒科　眼科　原醫院

龍山元町二丁目　佐藤病院　電話一〇三番

岐阜縣人に告ぐ
新年宴會を兼ね春季大會を開會す住所不明其他通知漏れの向も有之哉も難計何人にても御出席を希望す
期日　來る一月廿二日午後四時
會場　南山町掬翠樓
會費金二圓五十錢當日御持參の事
岐阜縣人會

齒科　京城旭町壹丁目五四　齋藤英壽　電話一四一四番

入院隨意　内科　小兒科　外科　梅毒淋病
院長　陸軍軍醫正　高井貞治
京城壽町三丁目　高井醫院　電話(二一六)

眼科專門
京城本町一丁目憲兵分遣所前　江頭眼科醫院　(電話三二)
前漢城病院眼科部長　醫學得業士　江頭富雄

開店廣告
料理　洋食　すき燒　辨當
食て後ち御評判を乞ふ
金十五錢均　出前も致升
鐘路裁判所向裏　鐘路軒

御待合　新築開業
京城永樂町三丁目永樂湯前　松月　電話一三四五番

日本の二大賣藥　全國各藥店にあり
●三輪井上藥博士方劑　懷中良藥　仁丹　消化と毒けし
●醫學士　毒滅　梅毒ん病にクラウス新藥
代理店
京城南大門通三丁目　新井藥房本店　電話(九百四番)(千六十八番)
京城本町三丁目　新井藥房分店　電話(四七八番)

東京電報

▲鐵道公債の發行
鐵道院にては改良工事及新線の竣工を計り鐵道國有の目的を遂せん爲め本年度內に公債を發行するに決し近々幹部會開く筈(廿一日)

▲新聞社行賞物議
日露戰役に關する新聞通信者の行賞は種々の物議を生ぜしより石橋代議士は今期議會に於て四ヶ條の質問を爲すべし(同上)

▲第一艦隊の巡航
第一艦隊は一月廿九日佐世保を發し沖繩方面を經て二月十二日香港到着澳門厦門を經て三月十五日佐世保に歸着すべし(同上)

▲伊公銅像の獻上
東京美術學校教授白井保次郞氏は故伊藤公半身一尺の銅像を製作し兩陛下、皇太子殿下、韓太子へ獻上せり(同)

▲重要樞府會議
本日午前十時宮中に於て臨時樞密院會議開會山縣議長以下各顧問官、桂首相小村外相出席統監府官制改正案、滿鐵中立提議に對する顛末並に之に對する回答等に就き議する所ありたり

▲首相の施政演說
桂首相は二十二日の議會に於て施政方針及び財政計畫に關する演說を爲す筈なり(同上)

▲兩院議員の歳費
本日樞密院會議に於て兩院議員歳費增加に關し決議したり(同上)

▲米國の提唱拒絕
我政府は曩に米國の提唱に係る滿洲鐵道中立問題に關し本日駐日米國大使を經て反對する旨の回答を爲したり(同)

▲大島大將の補任
關東都督を辭したる大島大將は軍事參議官に任せらるべし(同上)

▲裁判制度の改正
人權問題より胚胎したる陪審制度は到底議會通過の望みなきを以て又新會は裁判所構成法、訴訟法一部の改正を本期議會に提出し裁判手續の迅速を圖らん意見なりと(同上)

▲駐韓軍の交代期
滿韓駐剳師團は隔年九月を以て交代期と定めあるが新兵教育上更に四月に繰上る事情を生じ目下軍務局にて研究中なり而して本年は駐韓第六師團の交代するを以て調査進步中なるが多分四月となるべし(同上)

▲松平副總裁渡英
日英博覽會副總裁松平男は病氣全快し來る三月渡英あるべし(同上)

▲臨時派遣隊交代
昨年十二月勅令を以て服役年限を延期されたる韓國臨時派遣隊の一部は來る三月下旬內地に歸還するを以て之を交代に內地各師團より一中隊を引拔き韓國に派遣する事に決定したり(同上)

歐洲電報

▲土國議事堂の全燒
土耳古國會議事堂は全燒したり(廿一日)

雜報

東拓の經營事業
（宇佐川總裁の談話）

△驛屯土の引繼　東拓會社成立の當時に於て最も議論の多かりしは驛屯土引繼の事にて韓國政府に於ても未だ充分の調査行屆かざる所も有りて引繼前後の交涉に多くの時日を費せり又其實際の引繼は双方共不馴の仕事にて實に困難を感じたり而して引繼ぎ土地の價格は田十四圓七十錢畓三十五圓二十錢位の割にて主なる場所は京城及水原附近慶尙南道の一部江景及び載寧等にて拂込四分の一及び拂込豫定の四分の三に對する分も過半は受領を終り其殘部は此の二十日過ぎより向ふ二箇月間の豫定を以て三月中には引繼を終る筈なり尤も會社に引繼ぎの土地に對する昨年の小作料は約ね收得せり△土地の買入　驛屯土引繼に際し其附近に散在せる土地の持主中之れを會社に賣らんとするもの中々多く或る者は其の間に介まりて一儲けせんとして會社は之れを買はんとするにも仲々困難の事情ありたるが其代價高きは畓一反步三十圓安きは十二三圓にて約二千町步余を買入れたり△移住の準備　移住民を入れんとするには移住地を選擇すること最も必要にして余りに多くを一時に入るゝは事情に於て之れを許さず故に漸次模範たるべき純良の農民を入るゝの必要あり此等に就ては目下頻々調査中なり△地圖の製作　昨年中受取りたる土地に對しては目下各地に四班又は五班の社員を派遣し實測に着手中なるが三月頃には全部終了の筈なり△漁業經營　平安北道西海岸全部の漁場は會社に於て引受け經營することゝなりたるが本年は漁船五百隻位を入るゝの豫定なり此以外に於ける通漁船は幾何入り來るべきか豫想する事能はず會社は主として其の漁從物に就て處理又は販賣等の便宜を與ふる考なり△移住漁民　前項漁業と共に本年より實行するや否やは未決の問題なるが會社は漁場附近に於ける未墾地を借るの豫定にして半漁半農の移民を置くの方針なるが是等の移民に向ては會社は相當の便宜を與ふべし元來此方面には兩國漁船の通漁する者年々千五六百艘位あり大に考慮を要すべき點なりとす兎に角本年は試驗的なり△金融部　申込の金高非常の多額に上り居れるが目下の貸出は約二十余萬圓にて本年六七月の頃には資金全部を貸付け終りて空しく手を束ねざるべからざるにつき之れを擴張するの計畫を立て居る事なるが貸付に就ては鑑定を爲すの必要あり之れが非常の難問題にて百町步の土地を調査するには約月余の日子を要す而して鑑定價額の約三分の二を貸し附くる事故申込の如く容易く貸す事能はず而して各地に於ける小作人等には有利に貸付を爲し又信用ある者に對しては無擔保にても貸出を爲すが如きは法律の改正を必要とする次第なり△製糖事業　會社に於ては製糖事業を起すの計畫ありて甜菜につき試驗したる結果に依れば糖分非常に多く頗る有望なるを以て尙ほ本年に於て精確なる試驗を實行し來年度より着手する筈なるが其方面は黃州及び平壤地方にして其資金は四五十万圓を要すべし同地方農事經營者と試作打合せの爲め嚴秘書役長を出張せしめたり△鐵島園藝場　鐵島に於ては園藝場を起すの豫定にて本年は先づ十町步計りを試驗的に行ふべし其の內には葡萄、林檎、梨等を植ゑ付くる豫定なり猶ほ此の上擴張に對しては本年苗木少なきを以て明年より更に漸次進行すべし△出張所の設置　會社が是迄設置したる出張所は鐵島、砂利院、舊馬山等にて昌原、馬山、固城、泗川等を舊馬山出張所の管轄となし鳳山、載寧、信川、安岳の地方を砂利院出張所の管轄とし黃州、平壤、東津江、江景の流域、榮山浦附近にも出張所を置くの必要あり水原は本社の直轄と爲すや否やは未定にして其の他の方面にも多くの出張所を置くの必要あれども是等は目下調査中なれば愈々調査の成りたる上にて事業を始むる事を期待す△調査部の事業　調査部は各般の事項に就き調査を爲しつゝあり韓國の特產物としては綿花、煙草等も可なるが如し是等にも考を及ぼしつゝあり(京通)

警電と運動委員
穀物輸入稅問題に關し在京兒玉書記官より二十一日午前統監府へ宛て左の意味の電報到達したり

政府の方針は現行の稅率を固持するに決したり然れども政友會の意向を窺ふに再び米穀輸入稅增率案を提出せんも計られざる形勢なり就ては在韓日本人各團体は委員を上京せしむるならば一日も速かならん事を必要とす

右警電に接したる統監府は直ちに此旨京城商業會議所に傳へたる爲め同所にては全鮮會議所に打電し二十二日午前十一時より折柄來京中の群山居留民長阪上氏及最寄の仁川會議所代表者を會合し協議決議の上運動委員二名を推擧する筈なり

韓國銀行の過經
（木村理事の談話）

昨十一月下旬第一銀行より引繼し以來僅々一ヶ月餘の期間に於て其間種々新施設若しくは改更等社內事務の用務多く且旁引繼の創々にて營業上特殊話說するには運び居らず併し預金に於ては政府のみにて約百五十萬圓の增加を見るに至れり是れは時恰も歲末收稅期に相當したるが尙ほ其上昨年末は近年未曾有の徵稅成績の善良なりしによるものなり一面貸出に於て各地方支店を通じ約四十萬圓を超過せり是尙ほ歲末に際し一般資金需用盛なりしによる云々

東拓事件上告擴張
東拓會社及び峯岸繁太郎氏間の上告事件は既報せしが尙ほ峯岸氏訴訟代理人皆川辯護士は廿日付を以て左の上告擴張趣意書を高等法院に提出せり

上告擴張趣意書

上告人　峯岸繁太郎
右訴訟代理人　皆川廣濟
被上告人　東洋拓殖株式會社
右法定代理人　宇佐川一正

右當事者間の總會無效宣告請求事件の上告に付き上告趣意を擴張する如左

第一點

原判決は甲第一號證總會の通知に總會相開き左記事項御承認相願度云々とあるを以て總會目的の何なるを知るべく又た第一事業報告承認の件第二財產目錄承認の件第三貸借對照表承認の件第四損益計算書承認の件第五利益分配案の件とあるを以て決議すべき事項の何たるを知るべしと判示したるは理由の不備なるものなり何となれば目的の何たるを知るべし事項の何たるを知るべしとの判示は目的及び事項の何たるかは人の推斷し得べきものなりとの文義に解釋せざるべからざると同時に各人其推斷を各異にすることあるべきを豫想せざるを得ざるが故に原判決は結局總會の目的及び決議事項を何物なりと確認したるかを判示せざるに歸すればなり

第二點

商法第百五十六條に規定せる決議すべき事項の記載は株主をして總會に於て評決せらるべき事項如何を豫知するを得せしめ其決議權を行ふに十分なる準備を爲さしむるの法意なれば總會の通知には其議事日程たるべき事項如何を了解せしむるに足るべき記載あるを要するものにして單に何々の件とのみ記載したる如きは決議すべき事項の記載にあらず(大審院明治三十五年及び三十七年判決錄七卷五十一頁及五百八十九頁判例參照)何々の件と云ふ如きは決議すべき事項の件名即ち議事日程の名稱たるに過ぎず事業報告承認の件に付ては如何なる事業なりしや等の報告內容を了解せしめ其內容は即ち決議すべき事項なり財產目錄承認の件に付ては財產目錄の內容は即ち決議すべき事項なり貸借對照表承認の件に付ては貸借の內容は即ち決議すべき事項なり損益計算承認の件に就ては損益の內容は即ち決議すべき事項なり利益分配案に付ては利益分配の內容は即ち決議すべき事項なりとす然るに原判決は件名の通知を以て適法なる通知なりと判定せられたるものなれば如し是れ商法第百五十六條を不當に適用せるものなり

第三點

決議無效の宣告を求むる本訴に於ては明治四十二年五月二十二日の決議なる事實即ち決議行爲を以て直接に請求の原因となす詳言すれば法律行爲に外ならず若し夫れ法律關係成立の基本たる總會招集手續の違法と決議に參與したる株主資格の瑕疵とに至つては法律關係の基本事實たる決議行爲の因て以て成立するに至りたる事實に過ぎざれば此事實を付加又は變更するは請求原因を變更するに非ずして事實の申述を補充したるものと云ふべし例せば或る行爲を以て契約違反なりと爲し第二審に至りて更に他の行爲を以て均しく同契約違犯の行爲と爲し併せて之を主張したるもの(大審院明治三十一年判決錄九卷四頁判例參照)と同一法理に屬するものとす然るに原判決は「控訴人(上告人)は第一審に於ては訴の原因として不法通知の事實のみを申述し當審に至りて更らに不法表決の新事實をも申述し云々訴の原因を變更するものと云はざるべからず」と判示したるは民事訴訟法第百九十四條を不當に適用し同法第百九十六條を不當に適用せざるものなり

付屬書類
一　委任狀　壹通

明治四十三年一月廿日
右　皆川廣濟
統監府高等法院民事部御中

●綿花輸出額百萬圓
昨年は陸地綿、韓綿共に稀有の豐作なりしが米價の下落せしと日本に於ける綿花の騰貴及び交通機關の具備等の關係より綿花の木浦に集まる數量多大にして實綿の儘或は繰綿として日本に輸出せられたり而して從來の輸出額は約二十萬圓內外を普通とせしも昨年は既に年內に於て木浦に出廻れる數のみにて四万俵（一俵の重量は少なるは百斤乃至百五十斤大なるは二百五十斤に達す）を超へ今後出廻るべきものを加ふれば優に五六萬俵に上り其の價格は實は百萬圓を算する豫想なりと云ふ

●鐵道期成會の總會
二十日午後六時より商業會議所樓上に於て京元、三南鐵道期成會總會を開き運動委員を東上せしむる件に付き會議したるが外米輸入稅反對運動委員東上の件も附議したる爲め議論百出して容易に決せざりしも結局外米輸入稅反對運動委員と鐵道期成運動委員とを全然分離することゝなり外米輸入稅反對運動委員に關しては各地商業會議所の希望もあれば本件は後日に讓ることにし鐵道期成會より委員二名を東上せしむることに決したるも當夜は東上委員を選定するに至らず更らに二十三日午後六時より同所に於て總會を開き委員を選定する事に決して午後十二時散會す

●救老院の計畫設置
六十歲以上の老人にして孤獨賴る處なき貧困者を救濟すべく金用詠孫命根申疇熙等發起となり各五百圓宛醵出し其他有志の寄附を乞ふて之を基金として救老院を設置せんとて中部李乾夏方に事務所を置き目下運動中なるが既に多數の贊助を得たれば近々發表すべしと而して之が役員には總裁として經濟研究會長金在衎副總裁として尹鎔天を推戴し院長には申極其任に方るべし

●米大豆最近價額表

	上籾	上玄米	上大豆
仁川	三、四五	六、八〇	五、六〇
江景	二、二〇	七、三〇	五、四〇
群山	三、二〇	七、三〇	五、六〇
木浦	三、九〇	七、二〇	五、〇〇
馬山	四、三〇	七、八〇	五、五〇
密陽	三、四〇	三、二〇	四、六〇
海州	二、三〇	五、九〇	三、七〇
南浦	二、五〇	七、二〇	五、〇〇
龍岩	四、六六	九、三三	五、四〇
平均	三、四八	七、二五	五、〇八

●第三小學校の位置
本年度內に設立すべき計畫の京城民團立第三小學校は居留民分布の現勢に顧み東部管內に設くるを便とし敷地撰定中の處數箇所の候補地現はれ目下所有者と交涉中なり然るに二千坪餘の地積なれば所有者數名に涉り或は狡猾なる日本人其中に在る等の爲め彼等の意思一致せず交涉兎角捗々しからずと云ふ

●京城民團の協議會
京城民團にては四十三年度に於て第三小學校校舍を新築する豫定にて昨年末該問題の爲一度民團議員協議會を開きし其結果目下敷地の選擇中なるが敷地候補地も略ぼ見込附きたるを以て來る二十五日更に民團の協議會を開くべしと

●地方官の大更迭說
目下黃海道警察部長及び慶尙南道書記官は缺員中なるが岡內部次官は東京に於て地方官を補職する筈なれば其任命と同時に十三道の地方官に大更迭あるべしと云へり

●漢城府廳舍の移轉
漢城府現在所在地は之を通信管理局廳舍に充て漢城府は元法務院及巡査教習所跡に移轉する筈にて目下同建物の修繕中なるが落成次第移轉すべしと

●山根侍從武官出發
軍隊慰問の爲め滯京中の山根侍從武官は二十二日午前九時十分南大門發北行列車にて平壤に向け出發せらるべき筈

●各地財務官異動說
光州財務監督局新設の結果各監督局長財務官事務官に於ても同樣異動ある由

●足立聯隊長の出發
步兵第二十八聯隊長足立大佐（元軍司令部高級副官）は廿二日午前龍山出發

●岩田大佐の大連行
此程渡韓せし築城本部岩田工兵大佐は昨二十一日仁川を出發し大連に向へり

●服部事務官夫人訃
通信管理局事務官服部正一郞氏夫人激子は豫て病臥中の處藥石効なく遂に去る二十日逝去されたり葬儀は二十三日午後一時南山本願寺に佛葬相營まる筈

韓銀管見錄(三)
スイロオ生

▲「韓銀は目下三百万圓の遊金を有す、何を苦んで他より借入金を爲すの要あらんや、本行は相當の借主さへあらば喜んで其需めに應ずるのみならず純然商業資金以外にも不動產擔保さへ辭せざる事あるべし」とは木村營業局長の明言せるところなり、之と正反對に韓銀は目下一圓の遊金をも有せず、從て殆ら木村氏が徵勝するとも無い袖は振れず、結局は低利の資金を日本銀行より借入れ用を辨ずるの外なかるべしとは記者の主張なり、木村氏正しきか記者誤れるか开は追々に明瞭となるべし

▲記者木村氏に言つて曰く如何に貴行が貸出割引を爲すの方針なりとも資金缺くして爭かで實行し得んや、若し日本政府の庇護を以て日本銀行より特別低利の借入金を爲し貴行の資金を豐富ならしめんにはと、木村氏答て曰く本行は素々韓國政府の設けたる銀行なり、保護を受くべき主人は韓國政府なり、余は重役の一人とし本行が日本政府及び日本銀行等の保護を受けざらんことを期すと。

▲木村氏の韓銀獨立論は有名なるものなり、而り氏の獨立論は幾何なるものなり、保護を日本政府及日本銀行に仰がず、只り韓國政府に賴つて所謂獨立の目的を達し得べしと信ずるなり、嗚呼壯年一重役たる木村氏が眞に心底に於て斯る信仰を有せりとせば稚氣寧ろ愛するに價すべしと雖もさりとて韓國銀行をして斯かる無邪氣なる重役の經營に任かせ置きなば、何時如何なる間違を作り出すやも知れず、記者は扨置き株主及關係者は片時も安心すべきに非ざるなり。

▲諒たる木村氏が如何に韓銀獨立論を主張すればとて之を閣捨て置けば夫迄なり、而れども市原總裁其他の主張は如何、記者は斷じて曰はん韓銀は決して獨立し得べきものにあらず、否な日本政府の保護を受けずしては一日も存立し得べきものに非ずと。

▲韓銀現在豫定表借の部に政府及書通預金千二百萬圓ありとは木村營業局長の京城日報記者に語りたるところなり、而るに右千二百萬圓中僅か四百萬圓許りが普通の預金にして殘り八百萬圓は政府の預金なり、而して此政府預金は如何にして得たるか。

▲韓銀の設立成り第一銀行の其業務を引繼ぐに當てや京城釜山の兩店を除外す、之素より引繼覺書に因り爲されたるものなるべしと雖ども其結果は如何。

●武田少將の招宴
平壤鑛業所長に囑託せられたる武田海軍少將は水谷新任鑛次長と共に二十一日午後四時より石塚長官以下統監府高等官並に農商工部木內次官以下各局長並に書記官を天眞樓に招待して新任披露を爲したり

●度支部の新年宴
櫻井書記官の榮轉送別を兼ねたる同部新年會は二十一日夜掬翠樓に於て催したるが參會者七十余名に上り近來の盛會なりしと云ふ

●警視總監の招宴
若林警視總監は今二十二日午後三時より警視廳關係高等官十八名を自邸に招き小宴を催すと

●石原技師の出張
公立釜山實業學校々舍建築下檢の爲め廿日釜山へ出張

公人私人
▲岩井康太郞(內部警視)二十一日歸任
▲竹崎六次郞(全北書記官)二十日入京
▲細田左代吉(錦山區裁判所判事)同上
▲野村金之助(金融組合理事)同上
▲坂上貞信(群山居留民團民長)同上
▲保高正記(群山居留民會々長)同上

▶治外法權◀
大隈伯平和協會の總裁となる、民間知名の政客は勿論在留外人宣教師等迄伯の麾下に集つて平和論を主張す、伯や實際現代に於ける東洋の光明なり▲那翁三世平和論を唱へて佛獨戰爭起り、露帝平和論を唱へて日露戰爭起る、我今平和論を唱へて起るところの者何ぞとは早稻田大伯の虹想なり▲統監府東京出張所の丸燒と共に曾禰統監の提案原稿も燒失したソーだ、ドーセ始から無いものなら燒けて仕舞つたと云ふがヨッポド增しだ餘りにヒドイ▲問題閣餅日々從來する官憲の仕打は、東拓攻擊が夫程治安に妨害するか、宜加減にせぬと民論が沸騰するよ▲何でも御用なら引受けますの京城日報はタッタ一日だけ木村韓銀理事の談話を揭げて本紙の記事に對抗したが其後は不思議に沈默を守つて居る、知らざる事は知らざると爲して沈默する京日子は殊勝なるかな▲夫に就ても木村韓銀君が本紙に堂々と論戰を爲さずして影の方で徵稅成績の良かつた爲め政府預金が殖へたの何のと喋つて居るのは實に小さい、本紙の記事に異論があるなら正面から本紙なり又は京城日報紙上に異論の點を公開するが宜い、何に銀行の重役はそんな事はすべきで無いぞ、理事の椅子さへ捨てる積りなら何んでも無いぢやないか。

滿洲劇の開幕
右は筆者病氣の爲本日休載

シガー、シガレット、ブドウ酒、シャンピン、ブランデー、ウヰスキー、洋菓子、キリンビール、果物カン詰類、タンサン水
卸小賣
歐米雜貨洋酒食料品　洋煙草類金銀屬美術品　直輸入商
京城本町二三丁目
辻屋
本店電話二四八　支店電話二六六



拳骨（十二）

桃陸

「實に怎うも亂暴な男だ、ねえ紫君、紫山君頭は餘程怎うか爲てゐるんですよ」六疊の座敷で桐胴の火鉢を前に胡坐を掻いて居るのは日比雲水である、其の前に浮かぬ氣に聊か慍を見せて坐つて居るのがれ六夫人で、

「悉く共人の良人たる者が、當方の厚意に對して斯くの如き返事の返さるゝ筈の者でないです」と手には先刻使ひので鉢以て齎らした紫山君の書翰を握つて居る。

「余り馬鹿に爲て居るではありませんかね、何時迄が顧めるやら解らん杯さは實に沒常識も甚しい」

「頑情なもんですからね」と流石は一寸良人の肩を持つて見る。

「頑情も時に依るです、幾ら頑情の強せ我慢を出したからとて妻は妻に違ひないのだから遲かれ早かれ早晩迎ひに來ねばならぬではありませんか」

「そりや來ます共、幾ら手紙では強い事を云つたつて妾が不在には家が過ちませんです者、そりや乾度迎ひに來ます」とれ六夫人は異底から怨う信じて居るらしい。

「大變な信用ですな」と雲水は苦笑する、其處へかず子夫人が蜜柑を盛つた盆を片手に這入つて來た。

「何と云つて返事が參りましたの」と良人とれ六夫人とを等外に見ながら席に就く。

「怎うも斯うも話しにならん」と右手の手紙を妻の前に投げ出す、直に取つて一應眼を通し了り、

「ま、なんて暢氣な人でせう、うんな人ではなかつたのにね」と呆れたと云ふ風姿のかず子に吸ひ込んだ實の烟をプッと吹き懸けながら、

「余り酒を飲むから頭が變になつて居るんだ」

「だつて余りおやありませんか、撲つたり蹴つたりした揚句可愛相に、妾しだつて腹が立ちますよ」

「可いんですよかず子さん、怎うせ妾は這麼馬鹿ですから……」同情者が出來ると誰でも急に悲しくなる者だ、れ六夫人は遂々兩眼に袖を當てる。

「あら、泣くには及びませんよ、妾が附いてゐる以上は決して心配なさんな貴方にヒケは取らしませんから、なア迎ひに來るか來んか一ッ根較べをしませうよ」

「可いわ、迎ひに來たつて妾し決して歸りません、誰が歸つて遣る物か」

「ハツハツハ、急に强くなつた者ですな」と云ふ雲水の口元には云ひ知れぬ或る意味の笑が落ようて居た、夫れはれ六夫人がまだ金香と云つて居つた藝妓時代に自暴鬪子を出した時の口癖が今の其の誰が怎うして遣る者か一艘であつたからで、夫を雲水は今思ひ浮べたのだ。

「れ笑止な樣さ」と又高く笑ふ、兩夫人は何事と云つた樣に等しく雲水に視線を注ぐ。

折柄下婢が一樣の名刺を持つて這入つて來た「富樫鐵二郎」横に少さく香海と記してある、ハテナ。

惡通關屋の公判

▲本日判決言渡しの筈

昨冬仁川署の手に檢擧されたる惡通關屋板倉光秀同店員中川林藏に關する詐欺取財事件の公判は昨二十一日午前十一時より仁川地方裁判所支部に於て開廷せられたり定刻る至るや大谷裁判長臼井、書頭の兩判事渡邊檢事長沼書記等着席被告兩名並に木尾、大崎の兩辯護士出廷先づ大谷裁判長より通關の手續き立替金の授樣從來の習慣を精細に訊問し夫れより檢事の論告あり渡邊檢事は通關屋と稅關吏員との惡習慣に就きて痛論し現に仁川稅關吏植松某の如きは被告より無期限にて二百圓を借金し清國與等の供給を受け某獨逸人（稅關吏）の如き屢々被告より金錢の借入れを爲したる事實ありと頗る急所を刺し結局被告板倉を懲役一年に同中川を六箇月に處せられん事を望み次に兩辯護士は何れも無罪又は執行猶豫を論じ判決は今二十二日言渡す事として午後三時閉廷せり本件は輸入商に取つて重大なる事件だけに傍聽人も頗る多數なりしと

小作人の暴行

▲我兵遂に拔劍す

龍仁郡駒興面の驛屯土小作人は一昨年驛屯士が宮內府より度支部所管に移りたる後小作米上納に關して紛擾絕へざりしが去る十七日水原財務署より伊原財務主事署員三名を從へて同面へ小作料徵收の爲め出張したる所二百餘名の小作人群集して曰く驛屯土の宮內府所管たりし時は收穫米を官民折半する習慣なり而して一昨年度支部所管に移りて從らも昨年の如き依然として半納（昨年同地は飢饉なりし爲き免稅したりと云ふ）し來れり之れを以て本年も既に半納したるに此上猶は徵收せんとするは不當なりとて應せざるのみならず却つて不穩の模樣あるを以て伊原主事は其日一先づ引揚げて翌十八日守備兵二名及び韓人巡査三名に護衛せられて再び同地へ出發し村民を集めて說諭したる所金在殿なるもの納稅すべしと云ひたれば百五六十名の村民は汝一人納稅すれば我々も又之れに從はざる可からざるに至るべしとて金在殿を亂打して瀕死に至らしめたる所へ龍仁分遣所長大西伍長は補助員三名を卒ひ來り群集の內より金在殿を救ひ出さんとて群集を制止するも群民は肯せざるのみならず憲兵の所持する銃劍を奪はんとして益々騷擾し制止すべからざるを以て已むなく大西伍長は補助員及び護衛兵に着劍せしめて威嚇し漸く群集を解散せしめたるが其際金在殿の外に三名の負傷者を出したりと云ふ

艶話し日韓紛紜

▲女は淺草の白首

本町七丁目附近を北に下る事三丁許り南署樂善坊何洞何統と云ふと六ケ敷き處に居住する李成明（二九）と呼ぶ極る高襟の一韓人あり曾ては我が東京にも留學せし事もありとかにて成程日語も巧みにて擧てゝ其の女房なる者も日本種の然も皮膚の剝げし女なるが但しその皮の剝げ具合の何となく怪しきも道理女は坂田もせ（二）とて東京は神田生れの生ッ粹ながら淺草奧山の白首上りと聞かば聊か熱の覺める話されど李公は中最大の札士處は此の女とて可愛がる事一方ならず女も又種異ひの女ぢと手に手を取つて渡韓するほどの女の滿更であらう筈はなく初めの間は二人差向ひの濕爽住ひに何の風波も引起さずいと睦まじく取膳の箸を取りつゝありしが何れは寄合夫婦の標異ひ長く續く筈もなく二度が三度と互ひに積る我が儘は何時しか隔ての壁となつて一と夜二た夜と除々李公が夜遊びを初め出せば女も元より淺草仕込吉原通ひの放蕩書生を手玉に取つた程の女とて何條默して見るべきか其方が那樣了見なら此方も這麼了見だと其處は日本人同士とは譯の異ふ情の選手を携へて來たほどの今迄の熱は何處へやら一度に纏も覺め果てゝつい近邊の京城座に再三見物の其の末が何どやら云ふ馬の脚と關係を結ぶに至り夫れからは日毎夜毎もう野暮臭い朝鮮人の機嫌氣褄は只の一日も嫌と云ふ始末に斯う迄されては李成明とて指を啣ねて見て居る譯にも行かず何だ彼だとの口喧嘩は寸時も絕えし時もなく到頭去る五日許前の事女の方から出て往く共何共無斷にれン出しかば李公は愈々憤り出し其の往く先を搜索中の處例の馬の脚殿の處へシケ込んでゐるとの噂を聞き出すや早速踏み込でサア踊れイヤ踊らぬの今や日韓紛紜の最中にて此の結果は何とつくやら鼓舍分は見物なる哉し

●通津郡の强盜 仁川署管內通津郡乘串面古香逆里高興梓方に五名の强盜押入り內三名は根棒を携へ主人初め家族一同を縛り現金其他家具一切を奪取したる旨二十日仁川署に屆出たり

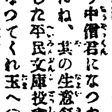
●如月會發句募集 當地俳壇の大團體なる如月會にては發會一周年祝賀の爲め發句大募集をなし大方雅客の投吟を希望すと撰者は二蕉庵紫香（東京）二來庵舟餅（韓國）二宗匠を主評とし副評には二凉庵丘松、二冷庵半月（以上周防）碧峯亭、松野家、草中庵（以上韓國）の各宗匠、花評は仁川の小溪甘柿君及び本社のむら蓉にして各天位落選とし更に總評一句點標をなし高句より百番句迄景品を呈すと句數は一人百句迄隨意とし會費として一名三十錢を申受くることゝ定めたり締切二月十二日限り文音所は龍山鐵道官舍第百十三號の十七富田晋作、京城蓬萊町一丁目十七番地木山元助の兩氏とのことなり

●不正直な韓人 京畿道楊城郡九龍面生れの徐克淳（二七）と云ふ皮物商人は田舍より賣品の皮物を持來り當地にて之を賣捌かんとせしも土地不案內の爲め西部倉洞十八統六戶居住の朴允玉（四八）なる者を仲介者として之を南大門通りの韓市場にて賣捌かしめし朴は其の一枚を十二圓にて賣却しながら十圓二十錢にて放賣せりとて其の差額を詐取せんとせる事を徐に發見され爭論の結果其の筋の厄介となり朴允玉は大目玉頂戴して引退る

●岐阜縣人新年會 在京城岐阜縣人會にては今二十二日午後四時より南山町翠翠樓に於て新年宴會を兼ね春季大會を開會する由なるが轉宅者若しくは戶不明の爲め通知漏れ等あるべきも可成縣人相互誘ひ合ひて出席あらんことを發起人側に於ては希望し居れり

●微笑會の例會 本土曜日午後三時より例の如く京城日本人商業會議所樓上に於て圓山大猷師の提唱例會開催の筈なり

●一昨日の新町 一昨廿日の新町遊廓の水揚高は遊客六十九名に對して三百三十八圓六十二錢の帳緣



淨藝

▲歌舞伎座 同座第六回目本晩の替り狂言は前「本朝廿四孝桔梗が原より狐火迄」切「心中天網島河庄茶屋場」の二場にして其の役割は左の如し

息女八重垣姬、紙や治兵衛（中村稲圖）女房れたね、紀の國や小春（中村梅女）兄横藏後に山本勘助、粉や孫右衛門（市川眼若）弟慈悲藏後に直江山城守（中村稲三郎）高阪彈正妻濡衣、人形使ひ、河內やれ庄（中村菊三郎）長尾景勝、武田勝賴（嵐吉花）妻唐折（中村菊太郎）先拂侍傳吾（片岡當久次）老母越路（嵐壽太郎）屋名彈正、原小文字、五貫や善六（市川小文治）百姓戶助、長尾謙信、若い者嘉助（中村昇若）妻入江、百姓庄五郎、でつち三太郎（寶川實壽）

▲壽座 今二十二日（六日目）の演物は一番目「奧州安達原」三幕二番目は「白浪五人男」上中下にして重なる役割は左の如し

善知鳥文治、康方母濱夕、辨天小僧（阪東大之助）妻袖萩、赤星重三（市川猿泰）代官右門、八幡太郎義家（嵐芳之助）庄屋庄兵衛、手代佐七、忠信利平（市川松年）遊人吾助、貞吉五郎（市川鶴昇）娘きみ（嵐粂之助）鳳元紅梅（片岡小蝶）女房谷上梅枝）鳳元楓（尾（嵐金之助）譯文直方、濱松屋幸兵衛任、濱松屋番頭與九郎（市川好猿）桂（片岡蝶昇）外ヶ濱南兵衛實は安部宗中納言敎氏實は安部貞任、玉島逸刀實は日本駄右衛門（嵐綠十郎）

▲平民文庫▼

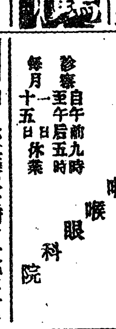
▲料理屋と云ふものは料理が美味くて値が安ければ繁昌すると思ふのは誤りである料理が美味くて値が安くも愛相と云ふものがなければ駄目である▲愛相と云つても決してチヤホヤすることではない客をして氣易く自由に窮屈の感じない樣に感じさせることが第一の條件である▲故に或る時は一寸とも接待はずれ手の鳴る迄は打ち棄てゝ置くと云ふことも必要である客の酒の量も知らずにモウ無くなつた時分と氣を利かして後のれ銚子を持ち出すなぞは氣が利いてる樣で實は多くれ客に迷惑を感じさせるものである特に飲食專門の料理店にありて然りである▲野暮が粹人にウブだと珍重せらるゝのは即ち此の呼吸からである、ト降り座敷での話を取次いで見るのだ（風間子）▲どいつでも二上り三びんしかたないごろつきか又たろくでなししちりんたゝきはちたゝきくたばつてやむとやまや（越中の國）の百姓さわぎにや閉口千萬（西小門院）▲枝子樣貴女がいくら浪さんに戀して見ても駄目ですよ浪さんには南山町邊に深い〳〵艶かな女がちやんとついて居ますからね（一女學生）▲小僧君れ目出たう、だが不思議だよ一年經ちや中僧君になつたと思つて隨分生意氣だね、其の生意氣序に昨年吾輩が提唱した平民文庫投書家の親睦會の頭取になつてくれ玉へ（千里眼）▲ハイれ目出度う相變りませず、偶々技書せらるゝかと思ふと生意氣だは恐れ入らざるを得ない僕は不服だから怒つて了つた（小僧）▲正月病に臥し「やみぼけ」でれ〳〵も中山誓願寺れせう月でもらちあかん香」（乞食僧）▲例の狂亂菊牡丹を見んと出掛けた一紳士がある所が店前で女將を一日見るや否や逃歸つたが何ういふものか（平民將軍）▲松葉の光松君とはいや早御苦勞千万同亭の政子の身の上を聞いて見ると隨分可愛想な者だ親なし兄弟なし此の廣い世界に誰れ一人として力よる者もない孤兒……世の同情ある諸君は大いに慰めてやり玉へ（遊治郎）▲拜啓去る十六日の紙上平民文庫投書小生憲兵隊正門内に於て犬に吠ねらる云々の記事は聊か事實と齟齬し且つ其筋の注意に依り追訂致し候、即ち「二人の憲兵上等兵は頻りに是を眺めて面白がり「いち確固やれ」と戲んにヘシをかけた云々とあるを二人の憲兵中爐に向ひ居たる上等兵は一チヂシカリ」と數度ヘシをかけた」右の通り御訂正被下度御願申上候也（右平民將軍宮崎）▲以上の通訂正致ます（係）

●天氣豫報（自廿一日午後六時至廿二日午後六時）

北西の風曇後晴

二十日（華氏） 最高溫度 四〇、三 最低溫度 二八、〇



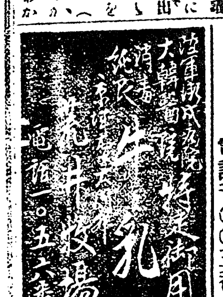


廣告

中村耳鼻咽喉眼科院 清國領事館前 入院隨意 赤貧者施療
診察 自午前九時 至午後五時 毎月一日十五日休業

卍 七大藥取次所を一區に一ヶ所開設す月收五十圓已上の特典あり返信三錢 日本尾張海東七寶村藥王山御靈藥寮

宮內府博物館御用 古今美術 書畫表裝 金銀屏風襖洋式天井張 黃金町二丁目
表具 松月堂 電話千〇〇三番
精實を旨とし大勉强仕候也



割烹開業御披露

拜啓嚴寒の候に候處四方御客樣益々御清穆奉賀候さて私儀囊きに壽町食道樂に於て相勤め候節は不手際なる料理にも不拘格別の御賞味を賜はり爲めに同店の益々盛大に赴きし段深く奉感謝候然るに客臘都合に依り食道樂と關係を絕ち南山町二丁目（元にしき跡）に於て獨力にて料理店相營み來る二十五日開業の運びに至り候、元より食道樂時代と同じく料理の美味を誇りと致す者にて全くの色氣抜きにて料理其他道具萬端を精選し且つ頗る安値を旨と致し四方御客樣方の御意に叶ふ樣可仕候條何卒以前に變らず御引立の程偏へに奉懇願候

明治四十三年一月廿二日

電話千五百二番 す津祢 主人 相原敬白

責任足袋

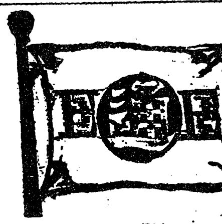
利久底

（防寒用足袋中ばき）

製造元 ㋑ 富岡本店

大阪市東區博勞町座摩の前

電話東二五七九番 振替大阪二五三四番



貨物運送取扱 稅關貨物取扱 貨物引換證發行 危險擔保附運送 品代金付貨物運送

內國通運株式會社

京城支店 京城南大門驛前 電話一七九番 電話七〇八番
仁川出張所 仁川驛前 電話五一一番
釜山出張所 草梁驛前 釜山驛前 電話五一六番 電話六三七番
龍山出張所 龍山驛構內 電話二〇六番

統監府御用 宮內府御用
軸物、表裝、金銀屏風、額面、襖、壁張、天井張、雨戶、障子、硝子戶、其他表具、建具一式
表具 建具 商 京城明治町（電話一一八七番） 石川辰次郎

荊妻淑子儀病氣の處養生不相叶去廿日死去仕候就ては來廿三日午後一時大和町三丁目自宅出棺本願寺に於て葬式執行仕候此段辱知諸君に謹告仕候

明治四十三年一月廿二日

服部正一郎
實兄 手塚肇
小田倉啓

諸看板製作

油繪肖像畫●硝子金文字入 ペンキ塗工事大勉强請負

氷樂町二丁目 赤門通り 椹野工舍

美術半襟帯締其他紐類各種
京城明治町一丁目 電話一千四百〇九
ゑり徳商店

▲無料紹介欄▼

入事部

年齢十五歳位の小供入用 希望者は來談ありたし 三井物産京城支店

●小僧入用 十五歳より廿歳迄の男子三四人入用但し市内に確實なる身元引受人あるもの 辻屋本店

●大學並實業學校程度の書生一人を置きたし ●邦語裁判の御依頼に應じ度し望の方は下名へ 太平町二丁目廿三番戸岸田

多少法律事務並に韓語の心得ある二十歳前後の書生一人雇入たし 姓名在社

物件部

●貸家 西大門内舊國學館跡六疊三疊四疊半並に炊事場付格安に貸したし 問合所御承方へ

●電話讓渡又は貸付 九何○番直接に限る 本町四 賛化堂藥店

●老舗讓渡 本町一丁目目拔の場所多年営業の雜貨店主人實際帰國の爲め餘儀なく店を居拔の儘至急讓渡したし 旭町一の六〇 山村

廣告

無心道志多年賓斯道於淵微研究奥意恍然似有獨者焉擧諸事諸般依撤應應斷斷致致致也 易斷觀相教授 京城本町五丁目 館主 土御門派大陰陽師 三一館

●●滋養と牛乳●●

純良 牛乳 京城東四軒町 岡野牧場 電話壹○六九番

馬車配達 ●●衛生と消毒●●

入院 隨意

中島醫院

京城旭町三丁目(電話三七八番)

院主醫學得業士 中島貞信

入院隨意 菅醫院

京城西小門通六番戸

電話改番 一三一五

待春日

合のし

上等石炭各種 並に無煙炭販賣

京城本町二丁目 林田交換所 電話六十五番

きゝめのある温泉湯

此の温泉は左の如き病に最も妙なり
一かつけ、痔疾、リウマチス、腰痛、中風、ひせん、梅毒、りんよこね、子宮病、血の道、神經痛、やけど、マラリヤ、せん腸胃加答兒、凍傷、がんがさ、其他内用には鐵冷温泉を用すれば尤も効能あり

貸席 京城本町一丁目郵便局前 鐵冷温泉 電話千四百十一番

營業擴張廣告

土地家屋並に商品擔保に

右は秘密確實最低利に取扱可申候間續々御申越被下度候短期は日歩にて相談に可應候下記便利の箇所へ電話又は端書にて御申越被下候へば早速參出可申候

質 企 業

京城竹園町二丁目 樋下田本店(電話九三二番)

京城相生町(南大門通魚市場裏通) 樋下田支店(電話一一四三九番)

龍山漢水町六十三番戸 樋下田支店(電話四〇四番)

ますわた製

くつさき 防寒用各種

毛布 たびさき かいき まわた類

如何なる小さき足袋を用ゆるも差支なし

代理店 京城本町一丁目(長谷川町へ通る) 栗永商店

京城明治町二丁目(佛國教會前)

辯護士 特許辯理士 岩田仙宗

電話三五四番

新漬大根大賣出

◎新漬澤庵◎白菜漬◎奈良漬

官衙御用達 官製竈元賣捌。農業器具一式。肥料。種苗。新炭。日用雜貨。家具。工業農業消耗用藥品一式

良商工部園藝模範場御下品

諸官衙御用達 京城本町一丁目(長谷川町筋) 三輪商會 電話三八六番

●唐津石炭直輸入商

並ニ平壤無煙炭あり

京城太平町一丁目九五 南大門高等女學校裏通り 近藤商店 電話八百三十五番

瑞西タバン時計會社韓國代理販賣店

米國ウォルサム時計 米國アンソニヤ時計 韓國特約販賣店

獨逸國スカンジヤ自轉車特約販賣店

時計卸商 仁川本町三丁目 喜多金光堂本店 電話七五〇番

時計卸小賣 京城本町二丁目 喜多金光堂支店 電話千十五番

外科 内科 梅毒麻病專門

京城御成町南大門外一丁南 戸田病院

電話番號九三八番

石川高等法院判事閣下校閲 今村内部警務局警視閣下校閲 日韓印刷株式會社編輯部編纂

◎印刷鮮明 ◎類集整然 ◎校正嚴密 ◎攜帶便利

統監府 裁判所 監獄署 警察署 法規提要

●全一冊●紙數凡六百頁○菊判半截形●定價金六十錢

右發賣豫報以來未だ旬日に滿たざるも意外の好評を博し日々數百部の御注文に接し感謝の至りに候就ては猶一層御奮發し大方を協約、官制、官規、官等等級及俸給其他諸給與、任用、裁判所、警察署、監獄署の八項に増加し本月一日の現行法規として些の遺漏なきは勿論索引を附して見出に易からしめ、餘白を存して隨時御記入の便を謀りたる等設備の完全を期し聊か愛顧に酬ゆるの微志に有之就ては更らに本月廿日迄御申込の順序に依り配本に着手可致候間此規間に於て御購入の御方に限り豫約の通り特別減價を以て御高需に應じ可申此際續々御用仰せ付られ度奉願上候敬具

明治四十二年十二月一日

京城 日韓印刷株式會社出版部

綿わた綿ワタ

たやすくうります

ふとん地色々、ふとん調進、太物類、洋物類

京城明治町一丁目四ツ角

御問屋 唐川商店

電話二六一番

特約販賣 自製

漬物 味噌 醬油 製造元

京城本町五丁目

大上商店

(電話二五一番)

和洋酒、罐詰、穀物、麵類、銘茶、罐詰、乾物、候物、食料雜貨、ビール、米糀、塩辛、日本食鹽、荒種、特約販賣、尚御望に依り商品切手調進仕り各

荒物世帯道具一切

大阪 合 製白絞油 和洋蠟燭 和傘 岐阜提灯 魚釣道具 卸小賣

地方在住の各位には御申越あり次第代金引替付又は代金引替小包郵便を以て御送付申上候尚弊店營業品目録御入用の御方は御通知あり次第送呈申上候

荒物世帯道具 各國諸油 米穀 銘酒 澤龜 アサヒ サッポロ 麥酒 並に買次業

京城本町六丁目 合西崎嘉七本店

電話長二一〇 電話(ニカ又は二) 振替貯金口座東京(九四一七番)

韓國銀行

電話	(長)一三三	本店用
	一六二	當座直用
	一三〇	用度係用
電話	(長)一六三	來客用
	一二一	賜時建築部用

支店出張所

仁川、平壤、元山、大邱、鎭南浦、群山、木浦、馬山、城津、鏡城、開城、安東縣、咸興

爲替取引先

東京、大阪、横濱、神戸、京都、名古屋、四日市、下關、長崎、伏見、東京新大阪町、大阪西區、(以上日本)釜山、公州、光州、晉州、海州、沙利院、博川、寧邊、(以上韓國)大連、(清國)

當銀行は韓國中央金庫並に日本金庫事務の外普通銀行業務に屬する預金貸金爲替等精々確實親切に取扱申候

御待合 紅葉

京城南大門通三丁目光宣門側

電話一三八二番

位置の適當なるは御出入に御便利に御座候御取扱を懇切にし御手輕を專一と心懸け候

改修落成と電話開通

久しく改修中の處漸々落成仕候間不相變御最貨の程願ます

京城旭町二丁目(名古屋旅横へ入る)

待合 醉月

電話二六五番

齒科治療

本町六丁目

ドクトル 中村安子

(數そば横町)電話一五八三番

資本金 一千萬圓

積立金 五百十萬圓

株式會社 第一銀行京城支店

電話一一番 六一一番

銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候

本店 東京市日本橋區兜町

支店及出張所 大阪、京都、横濱、神戸、名古屋、四日市、下關、新大阪町(東京)、兵庫、伏見、西區(大阪)、釜山、

其他日本韓國各地並に海外樞要の場所に爲替取引先有之候

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候

資本金 參百萬圓

積立及繰越金 九拾萬圓

株式會社 十八銀行京城支店

京城南大門通 (電話四二〇)

韓國 本店 長崎市築町

支店 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、鎭南浦、馬山、群山、光州

出張所 大阪、韓國、日本 佐世保、五島、

其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり

貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候 (利息日歩壹錢四厘)

長崎貯蓄銀行代理店 (十八銀行京城支店)

★株式會社百三十銀行韓國支店

京城本町二丁目十五番戸 電話五十八番

資本金五百萬圓

頭取 安田善三郎

爲替取組先

畿内 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、郡山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、浮和田、御影、兵庫、神戸、平野

京濱地方 東京、横濱、大磯、甲府、住吉、柴本、下市

東海道 名古屋、半田、熱田、四日市、津、山田、桑名、松阪、

東山道 濱松、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、青森、秋田、能代、土崎、高崎

北陸道 小濱、福井、敦賀、金澤、大聖寺、富山、伏木、新潟、宮津、舞鶴、新舞鶴、豐岡、鳥取

山陰道 米子、境、松江、久手、大田

山陽道 玉島、福山、姫路、西大寺、笠岡、高梁、原、廣島、岩國、山口、府中、尾の道、三下關、萩、徳山、小郡、長府、柳井、平生、

南海道 牛窓、味野、岩見、岡山、串本、御坊、田邊、新宮、和歌山、尾鷲、州本、撫養、徳島、善通寺、丸龜、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ヶ濱

西海道 直方、飯塚、博多、福岡、若松、久留米、若津、中津、小倉、門司、行橋、佐賀、唐津、佐伯、別府、大分、伊萬里、伴津、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲、

北海道 函館、小樽、札幌

台灣 臺北、臺南、

清韓國 木浦、仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壤、晉州、肉州、馬山、大邱、群山、安東縣、

銀行一般の業務精々便利取扱可申候

日本郵船株式會社 電話十番 仁川 瀛船出帆廣告

貨物及船客取扱店 仁川海岸通 電話三九番 郡回漕店

●釜山、長崎、門司、神戸行 山東丸 二月十一日後三時出帆

●大連行 相模丸 二月十五日正午時出帆

●大連、芝罘、秦皇島行 山東丸 一月三十日午前六時出帆

●大連行 酒田丸 二月三日正午時出帆

●釜山出帆 元山、浦潮、雄基行 立神丸 一月廿六日午後六時出帆

御注意 御乗船ノ際ハ税關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ五十分前ニ